

## 会 議 録

付 属 機 関 又 は 会 議 体 の 名 称	第4回 男女平等推進センター運営委員会		
事 務 局 ( 担 当 課 )	男女平等推進センター		
開 催 日 時	平成30年10月23日(火)	午後2時～4時	
開 催 場 所	エポック10研修室2		
出席者	委 員	岡田千枝子 鈴木順一 溝口元 阿部やよい 小吹文紀 堀江咲智子 野村祥子 鳥山慶樹 ト沢彩子 水埜多喜子	
	事務局	4名	
会 議 公 開 の 可 否	(公開)・非公開・一部公開 傍聴人 0名		
非 公 開 ・ 一 部 公 開 の 場 合 は そ の 理 由			
会 議 次 第	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男女平等推進センター所長挨拶</li> <li>2. 運営委員および事務局の紹介</li> <li>3. 委員長・副委員長の選出</li> <li>4. 事業報告および今後の予定について</li> <li>5. 平成31年度エポック10フェスタについて</li> <li>6. 今後の運営委員会の日程について</li> </ol>		
審 議 経 過	<p><b>【議題1】男女平等推進センター所長挨拶</b> 男女平等推進センター所長より挨拶。</p> <p><b>【議題2】運営委員および事務局の紹介</b> 運営委員および事務局の紹介。</p> <p><b>【議題3】委員長・副委員長の選出</b></p> <p>委員 委員長は、今までの流れを知っているという意味で2年目の方が適任である。</p> <p>委員 本日は不在だが、堀江委員から、誰からも委員長に立候補がないのであれば自分がやってもいいという伝言を預かっている。</p> <p>結論 ⇒第4回運営委員会については、委員長は野村委員、副委員長は鳥山委員とする。次回以降正式に委員長、副委員長を決定する。</p> <p><b>【議題4】事業報告および今後の予定について</b></p> <p>●事務局より、事業企画グループの事業実施報告と今後の予定を報告。</p> <p>委員 各事業が、男女共同参画推進プランにおけるどの施策において実施されている事業なのか分からないため、それらがわかるようにしてもらいたい。そうすることで施策評価を行いやすく、より推進していくべき事業がわかるようになる。</p> <p>委員 年配の方へ向けた事業が少ないように思える。</p> <p>●事務局より、庶務・計画調整グループの事業実施報告と今後の予定を報告。</p> <p>委員 事業企画グループの事業もふまえると、働くことや女性の就職に関するセミナーが多い気がする。</p> <p>事務局 平成27年度に女性活躍推進法が施行されて以降、今働いている方々をさらに支援する取組みや、現在働いていない方で労働意欲のある方々の職業生活をどのように支援していくかという取組みを関係部局と協力して実施している。</p> <p>委員 2, 3月に、男女共同参画都市宣言記念講演会やワーク・ライフ・バランス推進企業認定書授与式等の事業が連続しているが、そうした事業を続けて行うことはもっとアピールしていくべきである。</p> <p>委員 これからパートナーシップ制度が創設が予定されているため、エポック10には何か取り組んでいてもらいたい。</p> <p>事務局 パートナーシップ制度の理解促進に向けて取り組みを行おうと考えている。</p>		

委員 職員がeラーニング等の研修を受講していることについて、区民の方がわかるように外部に示すことで、窓口に来所される方に安心を提供できると思う。職員が研修を受講していることがわかれば、窓口を訪れる際に安心感を得ることができる。

委員 eラーニングの研修期間が長いように感じる。

事務局 今回のeラーニング研修については、庁内で初めての試みであり、全職員に3種類の研修を受講していただくことになる。短い期間だと部署によっては受講が難しいことも考えられるため長期間とした。

委員 eラーニング等で職員の意識を高めていくのは良いことである。

委員 当事者に講師を依頼し、全職員に研修を受講してもらうことはかなりのコストがかかると思うが、何かしらの方法で職員の理解促進を進めてほしい。

委員 ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度は、申請することがかなり大変な作業であるため、認定書授与式や認定された企業などを男女共同参画都市宣言等のイベントで宣伝することで、認定企業の増加につながるのではないと思う。エポック10ニュースで企業名を出すというかたちで宣伝するというのもいいと思う。

委員 チェックシートを使用した書類審査や専門家同伴の企業訪問まで行っていることを知らない方も大勢いると思う。だからこそ、そのプロセスも含めて宣伝することで、認定された企業としてもアピールにつながるのではないと思う。

●事務局より、相談グループの事業実施報告と今後の予定を報告。

委員 10月11日のデートDV予防教室の見学をした件について、内容はとても良かったが、少し詰めすぎていたような気がする。一人一人が理解し納得できるようにするためにも、時間とそれに合わせた内容を考えてほしい。

事務局 学校ごとに開催時間は異なっており、学校との調整により決定している。受講後のアンケートでは、理解している子もいれば、受講前と意識が変わっていない子もいる。

委員 人権教育の一環として、デートDV予防や性教育などについて、学校教育の中でじっくりと取り入れられるようになってほしい。

【議題5】平成31年度エポック10フェスタについて

●事務局より、エポック10フェスタおよびエポック10フェスタ2018について説明。

委員 フェスタ2018における運営委員会展示物は、エポック10の紹介という展示であった。展示内容としてはエポック10が実施している事業等の紹介であり初めてフェスタに参加される方も多くいるため、フェスタの看板という位置づけで引き続き展示をしていくべきである。

委員 フェスタ当日は登録団体のイベントで盛りだくさんであるため、運営委員会としてイベントを主催するのではなく、他の方法でフェスタを盛り上げていくことのほうがいいかもしれない。

委員 フェスタの周知といった意味では、運営委員会がイベントを企画・実施していくことでフェスタへの参加者が多くなれば、結果的にその分だけ他の登録団体の催しに触れる機会も多くなる。

委員 運営委員会としてイベントを企画・実施していくにあたり、運営委員であり団体所属者でもある一部の委員は、所属団体のイベントと運営委員会のイベントとを両立していくことが難しいこともある。

委員 プレフェスタにおける意見として、展示をパワポなどで解説することで、より理解してもらえるのではないと思う。

委員 プレフェスタは、フェスタ当日と比較して団体所属者でもある一部の運営委員の手も空いているため運営委員会として関わりやすいと思う。

結論 ⇒エポック10フェスタ2019について、参加形式における「展示」部門で参加する。「イベント」部門においては再度検討する。フェスタ参加に伴うフェスタ実行委員会への出席については、水埜委員が出席する。もう1名については、野村委員もしくは堀江委員を候補とし、調整する。

【議題6】今後の運営委員会の日程について

結論 ⇒今後の運営委員会の開催日として【木曜日の午後】とする。次回開催日については各委員と日程調整を行った上で決定する。

会議結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エポック10で開催済みの事業および今後の予定を報告し、課題の検討を行った。</li> <li>・エポック10フェスタ2019の参加形式について検討し、展示部門で参加することが決定した。イベント部門における参加については次回委員会にて検討する。</li> <li>・次回以降の運営委員会の開催日程を【木曜日の午後】とした。</li> </ul>
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1 男女平等推進センター運営委員会名簿</li> <li>資料2 事業報告、今後の予定</li> <li>資料3 エポック10フェスタ2019への参加について</li> <li>資料4 運営委員会のフェスタ参加記録</li> <li>参考 豊島区立男女平等推進センター運営委員会設置要綱</li> </ul>
配付物	なし